



平成28年2月1日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

港の役割について学ぶ

～名古屋市内の中学生 11 名が職場訪問～

平成28年1月27日(水)、名古屋市立扇台中学校の1年生11名が名古屋港湾事務所に職場訪問し、港湾整備やみなとの役割、伊勢湾の環境整備をしている海洋環境整備船「白龍」について学習しました。生徒達は、海洋環境整備船「白龍」の見学後、港湾業務艇「翔龍」にて名古屋港内を見学しました。

今回の職場訪問は、名古屋港が名古屋の街・経済の中でどのような役割を果たしているか。また、その役割を果たすために当事務所がどのようなことを行っているかを生徒自身が調べることを目的に行われました。

生徒達は、名古屋港湾事務所に集合し、停船した海洋環境整備船「白龍」に乗り込み、白龍船長より「白龍」の仕事や、操舵室など船内の説明を受け、ゴミをすくい取るスキッパーや多関節クレーンの操作、流木の切断などを見学しました。その後、事務所職員より港湾整備や、みなとの役割について説明、港湾業務艇「翔龍」に乗船し、名古屋港内のコンテナターミナルや浚渫兼油回収船「清龍丸」、高潮防波堤などを見学しました。

生徒達は、「船で、海のゴミを集めていることを初めて知った。」、「土を掘ったり、ゴミを集めるなど、いろいろな船がある事を知ることができた。」、「浚渫兼油回収船「清龍丸」の大きさにビックリした。」、「海洋環境整備船「白龍」を見学したり、船に乗って名古屋港を見ることができて、とてもよい体験ができた。」と、目を輝かせていた。

【海洋環境整備船「白龍」とは】

海洋環境整備船「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(約1,800km²)の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。

平成27年10月には、台風15号に伴う集中豪雨により伊勢湾内に大量流入した流木等漂流物を迅速かつ集中的に回収し、海上交通安全に貢献したとして第四管区海上保安本部長より感謝状を受けました。



■職場訪問の様子(別紙1)

■海洋環境整備船「白龍」の概要(別紙2)

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾
空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303

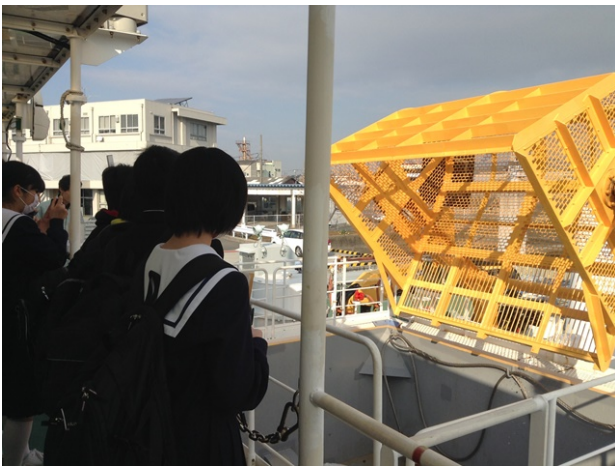
職場訪問の様子



海洋環境整備船「白龍」見学の様子



名古屋港概要説明の様子



スキッパー実演の様子



名古屋港見学の様子①



多関節クレーンによる実演の様子



名古屋港見学の様子②

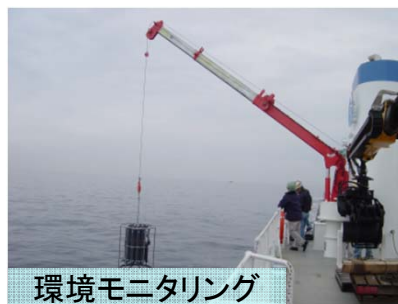
海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】